

景観形成基準適合チェックリスト

都市文化ゾーン「建築物・工作物」

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	
		チェック内容	(各欄ごとにいずれか一つの にしが入らなければ「適合」となりません)
高さ	・周辺のまちなみから突出しない高さとなるように配慮する。	隣接する建物と高さを揃える 通りの建物の高さを段階的に変化させる 隣接する建物と調和するように低層部の高さを色彩調和や形態意匠(壁面デザインの分節化など)に配慮する (具体的な内容: その他(適 ・ 不適
形態・意匠	・周辺のまちなみと調和し、まとまりのある形態・意匠、素材とする。	周辺とつながりを持たせるために素材・色彩などに配慮する (具体的な内容: 壁面のデザインを周辺の建物のデザインと違和感のないものにする (具体的な内容: その他(
色彩	・建築物等の外観は、住環境にふさわしい暖かみのある穏やかな色彩とする。	突出した色彩を避け住環境にふさわしい穏やかな色彩とする その他()	
	・地域の景観及び既存のまちなみに配慮した色彩とし、突出した印象の色彩を避ける。外壁の基調色彩は、質の高い、周辺景観と調和した色彩とする。	周辺とのつながりを持たせるような色彩にする(主要な壁面の色相:) 景観に影響を与える影響が大きい基調色や建物の正面の色彩として、突出した高彩度色の使用は避ける その他()	
	・周辺のまち並みから突出した高さや形態・意匠となる場合には、周辺の景観と一体感を感じられるように、低層部の色彩を周辺とあわせるなどの工夫をする。	隣接建築物等との高さや形態意匠の調和を目的として、周辺の建築物の色彩にあわせる。 その他()	
	その他	色彩の秩序を守る = 遠くから目に付きやすい建築物の中高層や屋根面は彩度を抑えた落ち着いた色のある色彩とする(公共性への配慮) 地域の色彩特性を理解する = まちなみの連続性を勘案し、統一、調和(トーン)、調和(同色相)とする(地域性への配慮) 自然の色彩を生かす = 自然の色から突出しないような色彩とする(環境性への配慮) 色彩の持つ力を維持する(機能性への配慮) 色彩の与えるイメージを考える = 地域のイメージとなる色彩に配慮する(意味性への配慮) 色彩の耐久性とメンテナンスを意識する = 高彩度やパステルカラーをなるべく使用しない(維持管理への配慮)	
外構	・駐車場、駐輪場、ごみ集積所等は、公共の場からできる限り見えないように設置する。やむを得ず設置する場合は、建築物と同様の形態・意匠、素材による遮へいや周囲の緑化等を行う。	すべて道路など公共の場から見えないように設置する 見える場合は見える面の一部を(植栽 ルーバー 建築物本体と同様の形態・意匠、素材)で覆う。 覆うもの(駐車場 駐輪場 ごみ集積所 その他) 建築物本体と同様の形態・意匠、素材(具体的な内容: その他(
	・道路など公共の場に接する場所に塀や柵等を設ける場合は、閉鎖的な塀・擁壁を避け、植栽、透過性のもの、自然素材のもの等を用いる。	道路など公共の場に接する場所に塀や柵等を設ける場合は閉鎖的な塀・擁壁を避ける 植栽を行う ルーバーなど透視性のあるものを用いる 木、石などの自然素材や擬木等を用いる その他(

景観形成基準適合チェックリスト

項目	景観形成基準	申請者ご自身でご記入いただく欄	
		チェック内容	(各欄ごとにいずれか一つの にレガ入らなければ「適合」となりません)
屋外設備	・屋外階段は、建築物本体と調和を図るよう工夫する。	道路など公共の場から見えない位置に設置する 道路など公共の場から見える部分の色彩を建築物本体と同系統にする 道路など公共の場から見える部分を(本体と同系統のルーバー 本体のそで壁 その他)で覆う その他(具体的な内容: その他(
	・室外機や高架水槽等の建築設備は、道路など公共の場から見えない位置に設置する。やむを得ず設置する場合は、覆うか色彩に配慮する。	すべて道路など公共の場から見えない位置に設置する 見える場合は建物と調和した(形態 色彩 その他)の建築設備にするか、 または建物と調和した(色彩 素材)の囲いを設ける 形態(具体的な内容: 建築設備または囲いの色彩について該当するもの 建物本体と同一の色彩にする 建物本体と同系統で彩度の低い色彩にする その他(素材その他(具体的な内容: その他(
	・配管やダクト等は、道路など公共の場から見える壁面に露出しないよう配慮する。やむを得ず露出する場合は、壁面と同一の色調とするなど目立たないようにする。	すべて道路など公共の場から見える壁面に露出しないように設置する 露出する場合は(植栽 ルーバー その他)で覆う。 その他(具体的な内容: 覆わない場合は配管やダクト等を次のとおりにする 壁面と同一の色彩にする 壁面と同じ色相の系統で彩度の低い色彩にする 建物本体のデザインに取り込む その他(素材その他(具体的な内容: その他(
夜間の特定照明	・周辺住民の生活環境への影響を考慮したものととする。	隣接地または前面道路の反対側に住居系建築物がある場合は、その方向に面した壁面全面への特定照明、点滅する照明、動きのある照明をしない 周辺に農地がある場合は農地の管理者等に了解を得ている 特定照明は設置しない その他(
	・回転灯やサーチライト等の光の量が多く、動きのあるものはできる限り使用しない。	回転灯、サーチライト等の光の量が多く、動きのあるものを使用しない 使用する場合はその数は2個まで(個数: _____ 個) 回転灯やサーチライト等は使用しない その他(
緑化	・公共の場から見える場所、特に道路など公共の場に接する場所ではできる限り緑化に努める。	道路など公共の場から見える敷地内に花や緑を植栽する 道路など公共の場から見える敷地内にプランターや鉢などを置く	
維持管理	・敷地内の植栽は適切に管理し、美観維持に努める。	適切に管理し、美観維持に努める その他	
	・ゴミなどの不法投棄物や捨て看板などを排除し、まち全体の美観の維持・向上に努める。	建築物の前に捨て看板などの設置をしない その他	